



学校だより

6月号

令和元年6月4日
横浜市立善部小学校
校長 小澤 紀子

子どもたちが輝いた ZSF (善部スポーツフェスティバル)

副校長 高嶋 聡

6月1日に行われたZSFには、たくさんのご来賓、保護者、地域の皆様にご来校いただき、ありがとうございました。時折日が差すとても過ごしやすい気候のZSFで、子どもたちは存分に力を発揮することができたと思います。市内の他の学校で一週間前に行われたZSFでは、季節外れの暑さにより、プログラムを変更するなど熱中症対策に追われたようです。本校では、創立40周年の記念としてベルマークで購入していただいたテントを設置し、おかげさまで木陰の無い児童席の一部の暑さ対策に生かすことができました。また、南希望が丘中学校にもテントをお借りしたり、急遽ミストシャワーを設置したり、水分補給の放送を頻繁に入れたりなどの対策を行いました。今後も児童の体調を最優先した対応に力を入れていきたいと思ひます。

開会式で朝礼台から見る子どもたちの凛とした姿は圧巻で、ZSFに対する熱い想いがひしひしと伝わってきました。1年生からは初めてのZSFに期待を膨らませる様子、6年生からは最後のZSFが6年間の集大成となるように、持てる力を出し尽くそうとする気持ちが表れていました。

徒競走で歯を食いしばって走る姿からは一生懸命さとたくましさを、気持ちを一つに演技する姿からは真剣な表情とやり切った充実感を、声を枯らして応援する姿からは、友達や仲間を思う優しい心を感じることができました。高学年は自分たちの参加種目だけではなく、係の仕事についてもそれぞれの役割を精一杯取り組む姿が見られました。その姿に感動し、あこがれをもった下学年の子どもも多かったと思ひます。

ZSFは、当日の子どもたちの姿もとても素晴らしいものですが、そこへ向かうプロセスがあるからこそ感動につながるのだと思ひます。ZSF当日に向けて、休み時間ごとに大きな声を出して毎日練習を重ねた応援団、リレーの練習でうまくいかなかったことを話し合い、練習の無い休み時間にバトンを借りて仲間と自主的に練習する選手たち、何度も手直しをしながら代表で話す言葉を考える子どもたち。そのひたむきな姿が本番に力となって発揮されたのだと思ひます。練習では、演技がなかなか覚えられなかったり、友達と息が合わなかったり、思った力が発揮できずに悔しい思いをしたことや、暑さに負けそうになることもあったと思ひますが、「自分たちのZSFをすばらしいものにしたい」という思いが最後までがんばる姿につながり、子どもたちを成長させたのだと思ひます。

一人ひとりが目標に向けて粘り強く努力する姿勢や、他者と協力して切磋琢磨する態度、そして、自らの感情をコントロールする能力などは、毎日の学習や生活だけでなく、ZSFをはじめ様々な行事を通して育まれていきます。目的意識をもって取り組むことが、子どもたちの成長を促し、子どもたちの心を豊かにしていることを実感できたZSFでした。

このZSFの实りをより大きくしていただいたのは保護者・地域の皆様の協力です。ZSFの素晴らしい姿は、子どもたちの頑張りや理解し、支え、励ましてくださったご家庭や地域の協力があったからです。改めまして、ZSFへのご理解とご協力に心より感謝申し上げます。午前中の進行が遅れたことにより、時間調整のために予定されていたPTA種目を急遽中止することとなり、大変申し訳ありませんでした。地域・保護者の方もこのZSFと一緒に楽しんでいる姿を子どもたちが目にする貴重な種目ですので、来年度は進行を改善し、ぜひ実施したいと思ひます。

ZSFを通して育んだ「粘り強くやり遂げる姿」や「友達と支え合う姿」は、これからの学校生活でも大切な姿です。学習や生活の中で今後も大切に育てていきたいと思ひます。